

徳大卒業生 就職活動体験記(7)

名前：賈 曄

(カ ヨウ)

出身：中国

学歴：徳島大学大学院先端技術科学教育部

知的力学システム工学専攻建設創造システム (2021 年度 9 月修了)

会社：株式会社アイ・エス・エス (東京支社勤務)

仕事内容：設計

(1) 私が日本企業に就職しようと思ったきっかけは？：

私は中国の大連出身で、子供の頃から古い日本の建築物を見て育ちました。旧横浜正金銀行大連支店や旧大和ホテルなどの昔の日本が建てた建築物を見て、子供ながらに「すごいなあ」と感じていました。そのうち自然と建築物に興味を持つようになり、「日本で建築について学びたいなあ」、「将来的に日本で働いてみたいなあ」と考えるようになりました。

加えて、建築関係の日本企業に勤めている私の叔母から日本企業のことについて色々と耳にしていたことも大きく影響したと思います。「日本の企業は仕事が丁寧で、とても品質が高い」、「締め切りをきちんと守り、誰もが真面目に働いている」という話を聞き、日本で働くことにますます興味を持ち始めました。

その結果、大学院進学後、日本の高い技術を実際の現場で学ぶことで更に自分を成長させることができると思い、本格的に日本での就職に向けて動き出すことにしました。

(2) 就活で苦勞したこと&成功したポイント：

一番苦勞したことは「日本語」です。大学院でも日本語の勉強はしていたのですが、JLPTの申請を忘れていたりしたこともあり、最後までN1を取得することができませんでした。何とかJLPT N2は取得したのですが、とても心残りです…。

ただ、振り返ってみると、「決してあきらめなかったこと」が、私が内定を取れた最大の理由だったと思います。色々な会社のインターンシップに参加し、たくさんの会社に応募しましたが、面接終了後にほとんどの会社から「お祈りメール」が送られてきました。大手ゼネコンに応募し、最終面接で不採用となったこともあります。ですが、それでもあきらめず、日本に留学することを決めた時の気持ちに立ち返り、常に前を向いて就職活動に臨んだ結果、今勤務している会社の方々と巡り会えたと考えています。

(3) これからの就活に向けたアドバイス：

まず、あきらめないこと、日本語の勉強を集中的にしっかりやること、これが一番大事です。日本で仕事を探している中国人はたくさんいます。その中でJLPT N1を持っていることは、日本で就職するための大前提になると思います。私もまだ取れていませんが、近いうちに取りたいと思って頑張っています。お互いあきらめずに頑張りましょう！